

2023-2024 フィンドレー大学・福井県奨学生月例報告書 1月

作成者：永井みちる

作成日：2024年2月10日

新学期が始まり、1か月が経ちました。今月は、春学期の授業、Diversity Dayについて報告します。

春学期の授業

今学期は、秋学期にも履修していた、留学生向けの Writing、Experiences in Japanese (Genki Kids)に加え、スピーチ (Principles of Public Speaking)、日本文化 (Introduction to Japanese Culture)、宗教学 (Pop Culture and Religion: Methods and Theories in the Study of Religion)、合唱の授業を履修しています。

Spring'24					
Time	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
8:00AM	ENIN ENIN				
9:00AM	ENIN ENIN		ENIN ENIN		ENIN ENIN
10:00AM	RELI RELI		RELI RELI		RELI RELI
11:00AM		COMM COMM		COMM COMM	
12:00AM		COMM	JAPN JAPN	COMM	JAPN JAPN
1:00PM					
2:00PM					
3:00PM					
4:00PM	Choir Choir Choir	JAPN JAPN	Choir Choir Choir		
5:00PM				Genki Kids Genki Kids	

ENIN: Intensive English Language Program (Writing) RELI: Religious Studies (宗教学)

JAPN: Japanese (日本文化) COMM: Communication (スピーチ) Choir: 合唱

・スピーチ (Principles of Public Speaking)

この授業では、スピーチの構成の仕方などを学び、学期を通して4種類のスピーチを行います。人前で話すのは日本語でも苦手で、それに加えて日本の大学ではプレゼンテーションをする機会がほとんどなかったため、それを克服するためにフィンドレー大学に留学したらこの授業を取ろうと決めていました。いざ受講してみると苦手なものはやはり苦手で、授業が始まって1週間も経つと、授業を落とそうか落とすまいかと毎日のように悩むようになりました。スピーチを用意していくのならまだいいのですが、アドリブで話すアクティビティもあり、私以外全員ネイティブスピーカーの中で、怖くて緊張して、絶対この授業を落とそうと思ったことがありました。しかし、いざ話しはじめてみると、意外にもすらすらと言葉が口から出てきました。さらに先日行ったスピーチでは先生から名前を挙げてほめていただき、留学に来たことで英語力が向上したと同時に、人前で話すことに慣れ、度胸がついたことを感じました。この貴重な機会を生かして、人前で自信をもって話せるように、真摯に授業に取り組んでいきたいと思っています。

・日本文化 (Introduction to Japanese Culture)

この授業では、日本語を専攻している学生3人と共に、日本文化について学んでいます。青木先生から勧めいただき履修することに決めましたが、日本で育ってきた私がこの授業を受けることに意味はあるのか、はじめは疑問を抱いていました。しかし、回数を重ねるごとに私の考えが浅はかだったことに気が付きました。授業では、外から見た日本についての資料をたくさん読みます。私たちが慣れ親しんで当たり前のように思っている文化や考え方が、日本を出てみると当たり前ではないこと、そしてそのひとつひとつには日本の歴史、自然などの背景があるということを学んでいます。日本人らしさとは何か、日本とはどのような国なのか、そのようなことを考えさせられる授業です。

・宗教学 (Pop Culture and Religion: Methods and Theories in the Study of Religion)

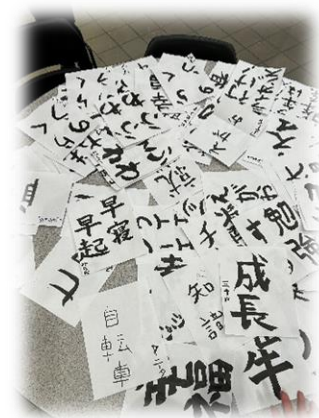
宗教とは何かをスターウォーズを通して考える、とてもユニークな授業です。ジェダイズムは宗教なのか、宗教を定義するものは何なのかなど、哲学的で興味深いです。クラスは私を含めて5人しかおらず、毎回ディスカッションをしながら授業が進んでいきます。難しい内容なので、意見を思ったように伝えることは難しいですが、ディスカッションは好きなので、必死に食らいついていきたいです。

・合唱 (choir)

秋学期に合唱の授業をとっていた留学生が何人かおり、楽しいと聞いていたので、私も11月から参加させていただいていました。今学期は正式に履修し、いまは春休みに行われるヨーロッパでのコンサートツアーに向けて練習しています。日本ではクラブ活動として行われる合唱、吹奏楽、演劇、美術などがアメリカの大学では授業として提供されており、学部に関わらず必修科目としてカリキュラムに組み込まれています。来月の報告書ではコンサートツアーについて報告したいと思います。

Diversity Day

Diversity Day というイベントが行われ、キャンパスツアーに来たフィンドレーの高校生と、英語を母国語としない留学生たちが、食事をしながら自国の文化を共有しました。アメリカの高校生から見た日本のイメージや、私たちがアメリカに来て感じた文化の違いを話す中で、スポーツの話になった時は同じ話題で盛り上がり、文化が違って同じことで笑い、熱くなるということを改めて実感しました。大谷翔平選手を知っているかと聞いたところ、当たり前だよ、彼は野球界のヒーローだととても熱心に語ってくれました。野球は詳しくないですが、日本人が世界で認められ活躍していることを誇らしく感じました。食事の後、バンラデシュ出身の友人が International Mother Language Day についてプレゼンをしてくれました。バンラデシュの首都ダッカがパキスタンの一部であった時代に、ベンガル語を公用語として求める運動が起こり、その出来事にちなんでユネスコが1999年に2月21日を国際母語デーと制定しました。言語と文化の多様性を守ることを目的としていて、言語はコミュニケーションツールであるだけでなく、文化そのものであるということを学びました。



本報告書に関してご要望やお問い合わせ等ございましたら、以下のメールアドレスまでご連絡ください。 nagaim@findlay.edu

新年会での書初め